

Rotary  |  イマジン  
ロータリー

# 釧路ベイロータリークラブ会報

会長方針「みんなが楽しいロータリー」

2022-2023年度 第30回通算第1175回)

プログラム『広報・雑誌・ITについて例会』(担当)広報・雑誌・IT委員会

■日時:令和5年2月21日(火)18時30分~ ■例会場:ANAクラウンプラザホテル釧路

(会長)濱田 聖子 (副会長)貝嶋 政治 (幹事)千葉 潔 (副幹事)遠藤 若枝

■ 点 鐘 濱田 会長

■ ロータリーソング  
「それこそロータリー」



ソングリーダー 貝嶋 政治 副会長

会長挨拶 濱田 聖子会長



皆様こんばんは！先週は「世界について語ろう」例会では植原会員のオーストラリア巡りを、楽しく聞く事が出来世界の旅行も又たのしいのかなあ〜という気分させて頂きました。ありがとうございました。

さて今日は「広報・雑誌・ITについて例会」です。会長の役割を頂いて会報をよく読む様に成り、楽しさを味わいました。又会報委員長始め、皆様が会報を作り上げるまでの苦勞を知り頭が下がるばかりです。

ベイロータリーに入り振り返ってみ

ると会長役を頂き毎週会長報告のスピーチのお陰で、壇上に立っていてもあまり上がらなくなりました。それよりも毎週会長報告の原稿を考えパソコンで打つ機会が多くなり、下手ながらもパソコンに向かうのが少しずつ楽しく成りました。エレクト会長の話を受けてパソコン学校に通い始めました。又合同事務所の三浦様のご主人にパソコン先生にお願いし何度も来ていただき教えて頂いたことで何とか文章を打つ事が出来る今日です。その文章を会報の担当者に送る手順そしてその会報をカラーに仕上げるスキルも身に付きました。出来るとすごく嬉しいですね。パソコンに向かっている時が苦になりません。これはベイロータリーに入ってから私の成長です。ベイロータリーに導いて頂いたスポンサーの春日さんのお陰です。又会長役を頂いたお陰かと感謝しております。今日で30回目を迎えました。残すところ16回です。大いにパソコンに親しみ、楽しみたいと思っております。

会報・雑誌・IT委員会よろしく願いいたします。

### ■幹事報告 千葉 潔 幹事



- ① 国際ロータリー第 2500 地区ガバナー事務所様より トルコ・シリ

ア大規模地震に関わる災害義援のお願いが届いております。

次週のひなまつり例会におきまして、皆様からの善意のご寄付をお願いしたいと思います。会員の皆様よろしくお願い致します。

- ② 明日 2 月 22 日、北ロータリークラブ様への集団メーキャップ参加の皆様へご連絡致します。

例会のスタートが 12 時 30 分ですので、プリンスホテル 1F に 12 時集合とさせて頂き、全員で会場に入りたいと思います。

よろしくお願い致します。

### ■委員会報告

大越親睦活動委員会 委員長



### ■各種記念日の紹介

該当者はありません

### ★本日のニコニコ献金

18,000 円 累計 841,000 円

小銭献金 累計 3,327 円

【横山委員長、宜しくおねがいします】

濱田聖子さん、千葉潔君、大越拓也君、澤田雅仁君、後藤義信君、貝嶋政治君、葭本正美君

【今日は宜しくお願ひします】

横山豊君、伊藤広樹君

## 本日のプログラム

「広報・雑誌

ITについて例会」

担当 広報・雑誌・IT委員会

横山広報・雑誌・IT委員長



本日の卓話は伊藤副委員長、森君、後藤君の3名で行う予定でしたが、森君が参加できなくなりましたので、僕が森君の替わりを務めさせていただきます。準備の時間が充分でありませんでしたので、今回は公報で撮りためた写真を皆さんに観ていただこうと思いますのでよろしくお願い致します。

※ガバナー公式訪問、出港式他の写真を50枚紹介。写真の掲載は紙面の都合上割愛。それでは時間になりましたので後藤君にバトンタッチいたします。ありがとうございました。

後藤 義信君



みなさん、こんばんは。寒い日が続いています。体調はいかがでしょう。最近は、コロナの感染者数もぐっと少なくなっていて、このまま収束してくれればいいなと思います。

さて、本日は、会報・雑誌・IT委員会担当によります卓話です。

担当者3名で卓話をするということで私も少しお話することになりましたので、どうぞお聞きください。

私が釧路ベイロータリークラブに入会したのは2016年の2月ですので、早いものであつという間に丸7年になりました。

1年目と2年目は親睦活動委員会に所属してまして、3年目から今までの4年間はずっと会報・雑誌・IT委員会に所属しています。去年は小平さんが会報・雑誌・IT委員会の委員長で、私と2人で卓話をしました。その時はITに関する卓話をしました。その前にも1度、卓話をした記憶があります。今回で3回目で、何をはなそうか迷いました。

釧路ベイロータリークラブの細則には、第9条の委員会の項目にいろいろな委員会の規定があり、第3節に会報、雑誌、ITについて書かれています。会報作成のほかにも出席率の向上ですとか、会員の教育とか、会員以外への広報などを行うように書かれています。しかし、私の場合、次の週の火曜日まであつという間にすぎてしまって、会報作成だけでやつとで、とても他の出席率の向上ですとか、教育、外部への広報はできていませんでした。

広報活動は、会員増強にも繋がっていきますので、最近特に重要性を実感しているところです。現在の釧路ベイロータリークラブでは会員の増強が喫緊の課題になっていますから。

私も誰かいないかと考えてはみましたが、仕事上の知り合いが少なく、友人も知人もそれほど多くないので、ベイの会員になることを勧める人は全然思い当たらず、情けなく感じています。だからこそ、なおさら私にとっては、この釧路ベイロータリーの人と人の繋がりが重要なんだなあと思いました。なかなかこういう集まりは他にはないので、たいへん貴重なものだと思います。ロータリーに入るのと入らないのでは、明らかに人生が全く違うものになると思います。ロータリアンはこの第7分区だけで200人以上いて、2500地区だと2000人以上です。日本国内には8万人以上、世界だと100万人以上で、たいへんな数でロータリアンの仲間意識も大変強いので、すごいなといつも感じていました。ですから多少時間がとられて、お金もかかったとしても入会して本当によかったと思っています。しかしそう思うようになるまで時間がかかって、私の場合5年くらいかかったかなと思います。その一方でまた、時代の変化に応じてクラブの方針も少し変化させることも必要かと思っています。ですから先日の漆崎パストガバナーの提案は、大変よいことと思いました。ロータリーのあり方を変えてみると興味を示してくれる方が現われるかもしれませ

ん。具体的なことがうまく思い当たらず、うまく言えないのがちょっと心苦しいのですが、以前から思っていることとしては、例会の始まり時間を今の6時半から7時半にはできないのかなとは思っていました。そうすれば、小平さんも出てこられるのではないだろうかと思ったりもししていました。あと、だれか専門家の方をお呼びして中小企業の社長さんが興味を引くような勉強会を開催して出席してもらい、その後クラブへの入会を促すことができたなら入会してくれる方もいるのかなと思ったりもしました。現実として実施できるかどうかは難しいと思いますが、せめて25人くらいの会員数がいればいいのにと本当に思っています。

あとは、私はベイ集会で飲みながらいろいろ意見を言い合うベイ集会が楽しいので、4回の例会のうち2ヶ月に1回を3、4班に分けて行うベイ集会を例会に加えるという提案も大賛成です。また、これまでのスポーツ例会でボーリング大会も楽しかった記憶がありますし、年に1回くらい温泉もいいですね。楽しい例会を地道に行っていれば少しずつ会員数も増えるのかなと思います。正直、今まであまり感じていなかったのですが、会員増強の重要性を改めて感じるようになりました。会報・雑誌・ITの卓話ではなく会員増強の話に変わってしまいましたが、短いのですがこのくらいで私の本日の卓話を終了させていただきたいと思います。ご清聴ありがとうございます

いました。

伊藤 副委員長、



会報とは、団体や組織が定期的に発行する、その団体や組織に関する情報をまとめた報告書のことです。会員向けに配布されることが多く、団体や組織の最新情報や活動内容、会員の声などが掲載されます。一方、広報とはある企業や団体が、広く一般の人々に向けて行う情報発信のことです。広告や宣伝、プレスリリース、SNSの活用など様々な手法があります。広報の目的は、その企業や団体の認知度を高める事やその団体や企業のイメージを良くすること、新製品や新サービスの宣伝、社会的責任の発信などが挙げられます。両者は、それぞれの目的や対象が異なりますが、その団体や企業の活動や情報を伝えるという点では共通しています。また、会報も広報の一つとして捉えることもできます。会員向けに情報を提供することで、団体や企業の認知度を高めることもできますし、会員からの声を通じて、団体や企業のイメージを向上させるこ

ともできます。

I T (information Technology・情報技術) 情報とは、日常生活の様々な事を無意識のうちに情報を活用して暮らしています。具体的には人の名前や年齢、ライン、メールアドレス等々 毎日物凄い量の情報を処理しながら生活しています。これらの中でも、人にとって特に大事なのが「言葉」という情報です。

人は言葉という情報を活用して生き延び、文明を発展させたのです。技術とは、情報技術のなかでふたつの条件コンピューター・インターネットを両方とも満たして情報を使う方法や手段が I T と呼ばれています。この技術を使うことによって情報が簡単に手に入るようになりました。誰でも・どこでも・早く・安く場合によっては人の体験談や口コミ情報までもが直ぐに手に入るようになりました。

これらの技術はこれからも益々進歩し続ける世界です。

この様な世界で、I T について全く知らない人と知っている人とでは色々な格差が生じてしまいます。

I T を学んで損をすることはありません、様々な分野で発信や収集して活用できるでしょう。

《例会風景》



後藤委員長 出席報告



在籍会員数	19名	賜暇 / 免除	欠席 / メイクアップ	出席率
今週の出席率	出席 10名	名 / 2名	7名 / 名	59%
日修正出席率	名	名 / 名	名 / 名	%

委員長 横山 豊 : yokoyama\_jiritsu@email.plala.or.jp

副委員長 伊藤 広樹 : landito@peace.ocn.ne.jp

委員 森 圭一郎 : fujitokenkogyo@purple.plala.or.jp

委員 後藤 義信 : yoshinob510@outlook.com

クラブ事務所

釧路市幸町14丁目1-1 ノースコートサンスイ2F

TEL : (0154) 23-6175 FAX : (0154) 23-6213

URL : //www.rc-kushiro.jp/bay/